



刊夕日七十月二

問題の軍事教育
不岳山人

政府の軍事教育施設に對し種々なる方面よりこれが反對運動を試みるものがある様であるが果して正當な運動であるや否や反對理由を知らざる吾人としてはその判斷に苦しむものである然れども大體今日の現状より考察すれば政府のこれら施設は極めて機宜の處置であると思ふのである、何となれば我國の思想状態は歐洲大戰後軍備とか國防とかいふ方面の問題に關しては極めて冷淡になり甚しきは至

つてはこれを口にすることを恥と心得て居るやうな不忠者があるや云ふ状態を現出してゐるのであるかくの如き寒心すべき思想傾向にある今日この軍事教育は大に意義ある事と思ふのである惜むらくはこの軍事教育は陸軍省の手を經して文部省單獨に行ふことがよかつたらうと思ふ即ち陸軍省の應援を仰かずとも結構實行し得る事と思ふのである或者は學校に陸軍の將校を特派することは教育を軍國化するものなり或は學校壓迫など、稱して大に反對の態度を有するものもあるかこれは心配にはならぬ寧ろ



急告
瓦斯コークス用
ここんろ 大小
入荷
平町新川町
佐藤鐵工所
コークス部
電話三六二番

家具店棚
各御注文品は
敏速に充分勉強
いたします
製造販賣店
鈴木勝弥商店
平町研町

森永
お茶召上れ (宇治かほる)
箱入
「宇治かほる」
六十枚入 五十五錢
百廿枚入 九十五錢
マツモトヤ
電話二二四番

常盤文藝
冬の歌
M生
正月の空晴れて清に群飛
ふ千鳥の羽音いと、樂し
き
水氣立ち上り我鉢に一粒
二粒落ち来る雪の朝
雪さらう男の聲にいと、
賑ふ雪の朝よ
淋しさ我を慰るなるや我
が華打つ正月の雪
降る雪の白きを見れば羞
るかな我が心の暗きに

赤心堂病院
平町町電話四七五番

松村病院
平町町電話一〇七番

高久病院
平町町電話五一三番

内科・外科・花柳病科
耳鼻喉科・婦人科
内科・胃腸科・婦人科
十二指腸虫病科
花柳病科・X光線科

磐城病院
平町町大通(電話二二四番)

関内藥局
平町町大通
電話二二四番

青沼醫院
平町城山(舊城跡)三の九
醫學士 青沼淡夫
電話四〇三番

社招員社
東恒産株式會社 磐城支社
平町役所通

月收百圓内外
………委細面談………

☑最も權威ある業務にして外交的手腕
を有する士を求む

株式賣買中値
電話に金融致し

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三・五
平銀行	五〇〇	六八・〇
同 新	五〇〇	四〇
磐城銀行	一〇・五	一〇・五
磐城銀行	五〇・〇	四二・〇
磐城銀行	三〇・〇	二八・〇
田村銀行	一三・五	一一・五
四倉銀行	一七・五	一七・五
農工銀行	二〇・〇	二五・〇
同 新	一五・〇	一九・〇
同 新	五〇・〇	五二・五
同 新	一五・五	一四・五
同 新	一五・五	九・八
同 新	五〇・〇	四七・〇
同 新	二五・〇	二二・五
同 新	一五・〇	一三・五
同 新	三〇・〇	二六・〇
同 新	二五・〇	一八・〇
同 新	五〇・〇	二五・〇
同 新	三三・五	一七・〇
同 新	二五・〇	一七・〇
同 新	五〇・〇	四一・〇
同 新	二二・五	一八・〇
同 新	五〇・〇	六五・〇
同 新	三三・〇	四四・〇
同 新	一一・五	八・〇

平町町 電話三三三番
丸登式店
川添房二郎

平町長の后任に 伏見助役が當選

伊坂前町長の...

伊坂町長後任選挙は本日午
後一時半から役場議事室内
に各町議参集意見を一致せ
しむべく協議を爲し午後二
時から本會議に移り伊坂町
長の退職を承認し後任町長
選挙の結果満場一致を以つ
て現助役伏見彦衛氏當選夫
れより伊坂町長に對する慰
勞金は一萬圓を贈呈すべく
席上何等波瀾なく決定した
石城郡の
消防協會分離
平外二方に
既報昨日の平署樓上に於け
る石城郡内消防組頭會議に
於て事業經費の關係から従
來の同郡消防協會を組織變
更し平、植田、四倉各警察
管内の三方に分離すべく
決定した
櫻の候に
消防聯合檢
四千の組員
平町に集合
平署管内廿二の消防組は四
月十二日平町にて聯合檢閱
を行ふ筈で約四千の組員が
集合すると

廿年忌祈禱

田町有志が
明十八日は平町大火災の廿
年目に當る依り田町にては
十七日物見ヶ岡稻荷神社に
て大忌年祭を執行して火伏
せの祈禱を爲し同町消防組
合は火の用心のポスターを
各戸に配布すると

優良牝馬

賞金を贈る
石城産馬畜産組合通商總會
は廿六日午前十時より郡會
議室にて開會、十二年度決
算、十四年度豫算、十三年
度追加豫算、事業報告並に
決算の承認を評議員會に委
任の件を附議し終つて組合
獎勵の優等牝馬に對して賞
金を贈る筈であるが一等賞
は左記の通り
(初雲) 澤渡村佐川生馬
(鳥野) 上遠野村油屋勝太
郎(春彦) 同村渡邊不二雄
(吉野) 三坂村吉田麟三郎
(初玉) 磐崎村市川倉吉

山崎氏肖像

額面の見本
昨報山崎與三郎氏の肖像浮

着物好み

二月は何
商賣でも
閑暇な月
だが、わ
けて呉服
屋は一年
中の閑散
期である、冬物は終り春着
は仕入済み夏物は當地方で
は五月に仕入れるから昨今
は無い品は無いまゝで現品
賣りに日を送つてゐる、四
月五月の花見季節になると
陽氣も温かく襟垢も目立つ
て来るので従つて着物の新
調者が殖えて来る、町内の
呉服店を巡つて最近の
状況を尋るとこの店でも

「近頃の御客様の好みは
男女に拘はらず柄がよく
つて値が安くチョット見
のいゝ品が望まれる、假
令ば極低い階級の婦人や
小僧さん連の着物も地織
木綿の如き質の丈夫な品
は殆ど買手がなく地織木
綿一反二圓四五十錢位
安い一圓二三十錢位のニ
コ／＼が歓迎されると
いふ状態である」
と語つてゐるがそのくせ婦
人の腰巻の九分通りは綿フ
ランネルで東京大阪方面の
婦人の九分通りが本フラン
ネルを用ひてゐるのと正反
對なのも面白い現象である
上流者の好みは東京と大差
はないが當町大多數の好み
はまだ、時世裝を表はす
といふまでには進んでゐな

持ち寄つて

醸酒を
他の酒と比較
石城地方に於ける酒造額は
逐年増加の徴候を示してゐ
るが品質が優良生産地たる
秋田地方の銘酒に比較して
甚だ劣隔段の差があるの
岡部平稅務署長着任以來鋭
意品質の改良を許りつゝあ
つたがその第一手段として
來る廿一日より三日間管内
酒造家稅務署に持寄會を催
し他の銘醸酒と比較する等
で監督局からは湯日技師が
出張し審査をする

平稅務署へ

移管の協議
雙葉郡富岡稅務署は昨年十
二月限り中村稅務署に合併
されたので富岡町以南の各
町村は不便甚しいので平稅
務署管内に入れてもらひた
いと目下協議中
玉川道路修繕
消防組出動

平町人事

出生
▲月見町三二 天野喜代壽氏長女
子
▲紺屋町四八 黒澤長氏四男四郎五
男正雄
▲鎌田町一五 吉村菊太郎氏長一
子
▲婚姻
▲石城郡鹿島村大字上矢田巡査江
尻長隆氏(三九) 研町一六鈴木富
美子(二二)
▲死亡
▲紺屋町五四 高野清彦(二二)

石城屠畜頭數

平屠
畜場に於ける昨年
屠殺頭數は豚千二百八十四
頭(價格五万九千九百九圓)馬
五百六十八頭(同三萬八千
百六十二圓)牛百八十頭(同
四萬八百廿五圓)で何れも
石城郡内に供給されると

花柳界が相當に繁昌

皮肉な平町の状況
一種の底力を有する爲めか
一昨十五日來の第二回全國
勤儉週間に就き石城郡に於
ても亦縣より配付されたる
宣傳ポスターの掲示を初め
各町村學校その他の團體等
が夫々宣傳の趣向を凝らし
一齋に活動中であるが試み
に郡内に於ける大體の傾向
を察知し得べき平町に付き
その第一日たる十五日の状
況を見るにその間の消息を
如實に物語る花柳界當夜の
景氣は大小夫々の宴會あり
たる某々兩三軒の一流處を初
め其他と雖も平日より優る
とも劣らぬ有様で右は他方
面と聊かその趣を異にして
常に一種の底力を有する同
地方の景況が齎する現狀を
見ることが至當であらう

本朝來の雪

軌道運轉休止
平地方は本朝來の降雪五寸
餘に及び泉江名間の軌道馬
車は遂に運轉を休止した
電車と汽車を
間違へ轢傷
姑立話中に
福島縣石城郡内郷村大字宮
金坂土庄石吉(三)は昨
朝八時四十分頃炭礦の軌
道で舅と立話中列車が來た
のを電車と思ひ違ひし列車
の軌道へ身をかけたので機
關車に觸れて前顔部に約三
寸の裂傷を負ひ右手の指を
轢断炭礦の病院で治療中だ

激流に落つ

幼児の奇禍
石城郡川部村大字沼部字平
堀一五三徳太郎五男稻坂六
助(八)は十二日午前九時頃
兄の清と居宅附近で遊んで
ゐたが誤つて用水堀の土手
高さ六尺餘の箇所から轉落
し激流に押し流された爲め
を清は驚き居宅に戻り大騒
ぎとなり下流を捜査して死體
を發見した
小川江筋總會 石城
小川江筋組合にては廿八日
午前十時より郡衙にて總會
を開き豫算を附議すると

藝妓が平へ

消印から發覺
青島博興路日本帝方抱藝妓
ノ太事山形縣生れ坂原タマ
(三)は本年一月廿六日無斷
家出したが平局の消印ある
封書にて此程廢業届を送つ
て來たとて抱主から平署へ
搜索方願出た
にも適します、右のやうな
花の個性を生かさなければ
花は死んで了ひます。例へ
ばろうばいを投入れにして
は淋しいでせう。しかし教
へに従つた生方のみが必ら
ずしも好いとはかぎりませ
ん。生ける人、其人の氣持
ちによつて生彩ある生花が
出るのであります。



活花は花の個性

を生かすが大切
(下)
△かん憐、晴冬、春バット
した姿で昔々の前に現れる
濃い濃い緑色の葉の間から

家庭
+ + + + +